

アヒア

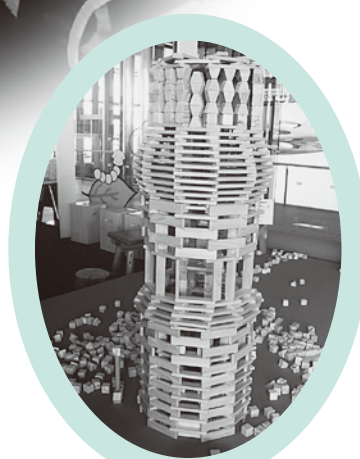
—岩手県民のてととをつなぎ、環境の輪を広げるために—



大人気の自転車発電♪
次は誰かな...?!



100万人のキャンドルナイト
inいわて2012—冬至編—



超大作!! (森のつみ木広場)

今冬のキャンドルナイトは、もりおか歴史文化館で開催しました。盛岡の街並みから環境を考えるお話や、ハーブティーのおふるまい、キャンドルづくりなどを行いました。たくさんの方にご来場いただきました。次は夏至編です。お楽しみに♪ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

Index

○センター情報

- ・展示
- ・エコカーゴが行く～第12回～
- ・図書の貸出を行っています

○団体紹介

- <盛岡市>岩手自然ガイド協会設立準備会
- <紫波町>NPO法人 ゆう・もあ・ねっと

○県内イベント報告

○県内イベント情報

○特集コラム

- ・風さんのいわての山通信vol.3



センター情報

◎展示

岩手県からのお知らせ 「環境コミュニケーションをはじめませんか」

岩手県では、事業者が実践している環境負荷低減等に関する取組みについて、周辺の地域みなさんに分かりやすく説明する場を設け意見交換を行うことにより、互いに理解を深める取組み、いわゆる「環境コミュニケーション」を推進しています。

「環境コミュニケーション」に取り組むにはどうすれば良いのか、また「いわて環境報告書バンク」の取組みについて紹介しています。



エコカーゴが行く!

第12回

キューブびん キャンドルづくり

日時：1月11日（金）
場所：うかっこ学童保育クラブ

今回おじゃましたのは、滝沢の「うかっこ学童保育クラブ」さん。キャンドルづくりを通して、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の学習をしました。使い古しのキャンドルを再利用して作るこのプログラム。容器はジャムやプリンなどの空きびんを使用するので、各自お家から持ってきてもらいました。いつも何気なく捨てているびんも、リサイクルすることでかわいいキャンドルに大変身！より身近に3Rを知ってもらうことが出来ました。



その他こんなところにも行きました!

■ニコエコVol.4

出動日：12月2日（日）
場 所：二戸市シビックセンター

■チアーズクラブ12月度活動

出動日：12月9日（日）
場 所：イオン盛岡南店 2階会議室

■森の工作館

出動日：12月26日（水）
場 所：第1篠木なかよしクラブ

■川前学童保育クラブ学習会

出動日：1月9日（水）
場 所：岩姫台集会所

■平成24年度滝沢村環境フォーラム

出動日：2月9日（土）
場 所：滝沢村公民館大ホール

☆図書の貸出を行っています☆

環境学習交流センターでは、環境に関する図書の貸出を行っています。

蔵書冊数は1200冊以上！
分類も30にのぼり、

- 温暖化
- エネルギー
- 動物
- 森林
- 食
- まちづくり
- 法政策
- 環境教育

など、色々な切り口で取り扱っています。

児童向けも取り揃えているので、自由研究や、総合の時間などの調べ学習にもおすすめです！

そんなたくさんの中から、毎月テーマに沿って、おすすめ図書のピックアップ展示を行っています。

1月は『食を考える月間』をテーマに行いました。



これらは、貸出も可能です！一人5冊まで、2週間借りられます。県立図書館にない本を置いているので、ぜひご利用ください(^^)

また、雑誌の定期購読や、DVDなどの視聴覚資料も充実しています。視聴覚資料は、公共施設や環境団体への無料貸出も行っていますので、各種イベントや研修会などでご活用いただけます。

詳しくは、HPからご覧いただけます。お気軽にお問合せください。

12月 新着図書のご案内

分類	図書名	出版社	著者
写真	気仙川	河出書房新社	畠山 直哉
	環境にやさしいお買い物	日刊工業新聞社	山川 文子
エコ	地球に暮らそう	旅と冒険社	加藤 大吾
	生態系の中に生きるという選択肢		
総合	手にとるように環境問題がわかる本	(株)かんき出版	オフィステキスト
	ガレキ	(株)ワニブックス	丸山 佑介
	原発も温暖化もない未来を創る	コモンズ	平田 仁子
森林	森林飽和	NHK出版	太田 猛彦
	国土の変貌を考える		
経済	経済成長なき社会発展は可能か？ 〈脱成長〉と〈ポスト開発〉の経済学	(株)作品社	セシリア・ケーン(著) 中野佳裕(訳)
エネルギー	日本は世界一の環境エネルギー大国	(株)講談社	平沼 光
	食	捨てない賢沢	(株)けやき出版
東京の里山発 暮らしレシピ			

…など、この他にもまだまだあります☆

図書の検索、今月のおすすめ図書などはこちら

<http://www.iwate-eco.jp/study/books.html>

視聴覚資料の詳細はこちら

<http://www.iwate-eco.jp/study/movies.html>



団体紹介

岩手自然ガイド協会設立準備会 (盛岡市)

自然の不思議、自然のすばさ、自然の神秘性、子どもたちが目を丸くし、おもわず驚きの声をあげる。驚きを誘う子どもたちの自然体験をサポートするのが自然ガイドであり、自然をよりよく理解してもらうためのファシリテーターの役割を担っています。

自然ガイドの養成を目的に活動を始めて23年、開催例会数は250回余り、登録会員は1,279名、これまで6千人余りの市民を活動領域である南八幡平に案内してきました。

子どもたちの自然体験は、大人を相手にするのとは少し違います。子どもの目線、子どもの心で、自然をとらえる必要があるからです。私たちは何のために生きているのか？自然ガイドなら迷わず答えることができます。驚き、感激するために生きていると。驚きと感激が、子どもたちの生きる力の源であり、学びの礎、成長の糧になります。

私たちは、感激に満ちた輝く自然体験を、子どもたちにプレゼントする自然の案内人でありたいのです。

代表 櫻井則彰



<ホテル観察会にて、ガイドの説明を受ける子ども>

今年の日程

- 3月24日 少年少女盗人森のシロップ探し
 - 5月12日 少年少女ガニザの沢のサワガニウォッチング
 - 6月 2日 少年少女小志戸前川上流部未知の沼ウォッチング
 - 7月13日 少年少女ホテルウォッチング
 - 8月 4日 少年少女葛根田川カジカウォッチング
 - 9月22日 少年少女平ヶ倉山麓ワンダーランドウォッチング
 - 10月20日 少年少女盗人森のリースメイキング
- 問い合わせ 事務局 080-6040-2443 (高橋)

NPO法人 ゆう・もあ・ねっと (紫波町)

平成13年より、紫波第一中学校の「ゆうごう授業」のコーディネートをきっかけに活動を開始し、翌年から子ども教室の企画運営を行っています。

平成23年4月、今までの任意団体のメンバーに有志が加わりNPO法人ゆう・もあ・ねっとを設立しました。「社会全体で子育てを！」の理念のもと、家庭でもない学校でもない、もうひとつのやさしい社会づくりに寄与することを目的として活動しています。

<活動内容>

◆地域と子どもたちが交流できる「地域子ども教室」を毎月2回以上3教室で実施、時には合同企画もあります。〔例〕クラフトテープでミニバスケット作り、重機操作体験、水切り絵でうちわ作り、凧を作ってあげよう！など

◆子育て世代への食育推進活動

夏休みと冬休み、小学生親子と地域の方が学校を会場にMyランチづくりをし、交流します。

◆市民活動支援センター「ゆいっとサロン」の委託運営

地育士（地域のことを思って活動する人）の創出を目指します。

◆子育てに関する相談と勉強会開催支援。

◆学社融合に関するコーディネート（学校での講座開催）

地域の方を講師に迎え、子ども達が手先を使うもの作りなどをし、大人と交流します。〔例〕読み聞かせ、歴史と山野草、スポーツチャンバラ、着付け教室、郷土食など

NPO法人ゆう・もあ・ねっとは、今後も地域社会の様々なニーズに寄り添った活動をしてまいりたいと思います。



<水切り絵でうちわを作りました>

県内のイベント情報

○イベントの詳細については、それぞれの団体へお問合せください。

①残雪の鎌倉森へ雪上ハイキング

【日 時】4月6日(土) 9:00~14:30

【参加料】大人800円 小学生600円
(温泉入浴料込)

【集合場所】網張ビジターセンター

【定 員】20名

②網張の森で春みつけ

【日 時】4月21日(日) 10:00~14:30

【参加料】大人800円 小学生600円
(温泉入浴料込)

【集合場所】網張ビジターセンター

【定 員】20名

③薪の駅プロジェクト2012-2013

i) 遠野・山仕事はじめの一歩(入門)講座

山林での作業に興味のある方、自分の山の手入れができなくて困っている方、手入れされていない山林を何とかしたいと考えている方、退職後の第2の人生を考えている方。共に、遠野の山林で汗を流しませんか?この講座は、全くの初心者の方でも、山の手入れができるようになることを目的に開催します。毎回参加が基本ですが、1回だけの参加でもいいです。性別や年齢は問いません。女性も大歓迎です。お申し込みは、開催2日前までお願いいたします。

【日 程】第5回:4月21日(日)

間伐、造材の実習

第6回:5月19日(日)

間伐、集材の実習

第7回:6月16日(日)

実習のおさらい、まとめ

【開催時間】10:00~15:00

【集合場所】遠野市総合福祉センター駐車場

【参加料】無料

【定 員】30名

【持 ち 物】山林で作業できる服装

筆記用具、昼食、飲み物、着替え。

※当日の天候により、内容は変更になることがあります。また、集合場所から実習する山林(松崎町忍峠付近を予定)までの移動は、参加者の車両の乗合にご協力下さい。

ii) 遠野・薪づくり倶楽部

山の中に放置されている間伐材を搬出して、薪にする活動に参加しませんか?作業に参加した方は、まきの引換券を受け取り、来年の秋に乾燥した薪と交換することができます。みんなでワイワイと薪づくりを楽しみましょう!申し込みは、開催2日前までお願いいたします。

【日 程】第5回:4月7日(日)

第6回:5月5日(日)

第7回:6月2日(日)

【活動時間】9:00~15:00

【集合場所】福泉寺(遠野松崎町駒木)駐車場

【参加料】無料

【持 ち 物】作業できる服装、昼食、飲み物
着替え、チェーンソー・斧(持っている方)

※荒天時中止

※薪づくりに参加できないが、間伐材を活用した薪が欲しい方には、軽トラック1台6,000円(市内配送料1,000円別)でお分けします。

売り上げは、来春予定している間伐材の買い取り(地域通貨券の原資)に使用させていただきます。こちらの申込みも、問い合わせ先までお願いいたします。

●お問合せ●

①~②網張ビジターセンター

TEL:019-693-3777

FAX:019-693-3778

③NPO法人遠野エコネット

TEL・FAX:019-864-2250

※申込みは、氏名、住所、電話番号、生年月日、性別をご連絡下さい。

●環境イベントの情報をお持ちの方は、環境学習交流センターまでお知らせください。チラシやポスター等も掲示させていただいております。

県内のイベント報告

地球温暖化を防ごう隊発表会

日時:平成25年2月2日(土) 13:30~15:45

場所:いわて県民情報交流センター(アイーナ)

6階 団体活動室1

岩手県内の小学校による地球温暖化への取組発表が行われ、代表校として雫石町立西根小学校、八幡平市立寄木小学校、遠野市立遠野北小学校が発表して下さいました。

各校とも工夫を凝らした取組で、児童が自主的に行っている様子がわかり、大人の私たちもとても勉強になりました。

発表後は、岩手大学工学部の高木浩一教授による、実験やクイズを交えた講演会を開催し、五感を使ってエネルギーについて楽しく学ぶことができました。





学生時代のことです。山を歩きながら、生物学の恩師が「大きな山が見えるところで育った人は、心のあり方が我々とはちがうような気がするんだよなあ。」と、ひとりごとのように、ぼつりと言いました。私は、なぜかその言葉が忘れられませんでした。岩手に住んでからというもの、もう20年以上も昔のその言葉が、私の中で実感をともなって大きくなっています。

前回まで、岩手の自然の豊かさ、ふところの深さのようなものについて、感じるところを書いてきました。この岩手の森から、私たちはどれほどの恵みを受けているのでしょうか。分かりやすいのは、木材やきのこなど、目に見えるものでしょう。このような林業産出額は、年間で4千億円を超えます。一方、気付かれにくいのですが、目に見えない恵みもたくさんあります。岩手県林業技術センターによれば、そのような恵みを経済的に評価してみると、年間で、二酸化炭素吸収501億円（12,391億円）、化石燃料代替34億円（2,261億円）、水資源貯留1,752億円（87,407億円）、保健・レクリエーション1,054億円（22,546億円）など、総額26,398億円（702,638億円）にもなります。※平成14年研究成果速報より。（ ）内は、林野庁による全国評価。

けた違いの数字が並び、ピンときませんが、県民1人あたりにすると、186万円になるそうです。全国平均では1人あたり56万円だそうですから、岩手県の豊かさがよくわかります。二酸化炭素の排出量取引などをのぞき、大部分は、経済的評価がどれほど高くても、利益は生じません。森林のはたらきは、手入れされた森林ほど良いのです

が、現実的には、手入れをする予算も労力もなく、荒れた山を持てあまして所有者が多いのです。山仕事の大切さや魅力が見直される時代が来るかどうかは、これからの課題です。

保健・レクリエーションについては、森林風景鑑賞旅行として費用が計算されています。私の場合は、外を歩けば道すがら、岩手山、秋田駒ヶ岳、志和三山、姫神山の頂が見えます。早池峰山の頂も見え隠れしています。とりたてて珍しくもない、いつもの風景ですが、「ああ、本当にきれいだな…」と、買い物袋を下げた日常の中でも、すがすがしくなります。とりわけ、青空を背景にくっきりと、裾野の広い岩手山が堂々とそびえる様子は、いつの季節も、形容しがたい美しさです。岩手の山は、日常と結びついています。そこで暮らす人々の心の中に育まれた原風景や価値観、誇りは、お金で評価することはできません。そこにこそ、岩手の山の本当の価値があるのではないかと思うのです。

増え続けるシカ、減り続ける希少生物、低迷する林業、加えて放射性物質など、岩手の山が抱えている課題は多いですが、岩手の山々、森林が、そこに住む人々をいつまでも豊かに包んでくれることを、願ってやみません。



● 「いわて環境情報板」更新中です！ ●

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にお伝えします。

環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月更新していますので、お楽しみに！また、皆さまからお寄せいただいた情報も掲載させていただきますので、お気軽にお問合せください。

<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

センター通信 スタッフのつぶやき

センターにあるつみ木は、子どもはもちろん、勉強にきた学生のいい息抜きにもなっているようです。気が付くと、大作（表紙の写真参照）が出来ていて、びっくりしています。（H）

発行 環境学習交流センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

[E-mail] eco@aiina.jp
[Website] <http://www.aiina.jp/environment/>
[Blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>
[Twitter] http://twittr.com/iwate_eco

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて運営しております。